「埼玉県民児協の挑戦と未来への決意」

明けましておめでとうございます。

埼玉県民生委員・児童委員、主任児童委員の皆さまには、ご健勝にて輝かしい令和7年を迎えられたことと存じます。

昨年の県民児協は、9月5日に第50回埼玉県民生委員児童委員大会、12月9日には主任児童委員制度30周年を記念する主任児童委員大会を、いずれも埼玉会館で開催しました。

両大会とも、部会の発表を中心に、会場が一体となる盛大な大会となりました。

今年の埼玉県民生委員・児童委員協議会は、第85回関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会の開催を迎えます。開催当番県として、令和5年に実行委員会を立ち上げ、開催地を熊谷市に決定し、7月10日から11日の日程で、大会会場を「さくらめいと」に、ホテルでの分科会、記念講演と講師、情報交流会、シャトルバスの運行などについて、会議を重ねてまいりました。

実行委員会も終盤を迎え、埼玉県ならではの熱い心とおもてなしで、魅力あふれる大会を実現したいと考えています。ご支援をよろしくお願いいたします。

また、今年12月には一斉改選が行われ、3年間の任期満了を迎えます。民生委員・児童委員、主任児童委員の活動の集大成となる一年です。

民生委員のなり手確保については、全国民生委員児童委員連合会や埼玉県民生委員・児童委員協議会が関係機関に働きかけています。昨年7月2日には、県民児協として知事へ要望書を提出しました。県福祉部の対応が思ったより早く、各分野の方々との検討委員会が開催されています。

時代の流れとともに、超少子高齢化が進み、地域社会や住民の意識の変化、生活課題の多様化、困窮化も進む中で、民生委員・児童委員の負担が増大し、なり手確保問題が顕在化しています。

民生委員創設から100年以上が経過し、民生委員法の枠組みの中で活動している私たち実践者として、抜本的な見直しが不可欠であると考えています。

持続可能な民生委員児童委員、主任児童委員の活動を実現するため、引き続き努力を重ねてまいります。

本年も地域共生社会に向けて、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりを62市町村の全委員とともに推進していきます。

市町村民児協のますますのご発展と、皆さまのご活躍を心よりご祈念申し上げます。